



ドローン（左上）やタブレット端末のカメラを使って動画を撮影する南小国中の生徒ら＝南小国町

無人機で撮影楽しいよ

南小国中 出前授業で映像作り

小型無人機ドローンとタブレット端末で映像を撮影、編集する体験が6日、南小国町の南小国中であり、1年生31人が数分間の映像作りを楽しんだ。

最先端の技術を子どもたちに知ってもらおうと、町が2017年から続ける出前授業。ドローンを活用したま

ちづくりで協定を結ぶ一般社団法人救急医療災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会（東京）に委託して開いている。

この日は崇城大芸術学部の学生5人がボランティアで協力。生徒と7～8人のチームをつくり、部活動紹介や学校のいいところなど

のテーマを決めて撮影、編集した。完成後は作品を発表し合った。

武田奈穂さんは「テーマや撮影するものを決めるのが難しかったが、動画が完成したときは、とても達成感があった」と話していた。

（宮崎翼）